令和 6 年（2024 年）度　産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：日本郵便株式会社
協定締結日：平成 30 年 10 月 12 日
活動状況：継続中
連携先窓口：事業共創部　鈴木雄輔氏
活動資金：大学予算
担当教員（所属）：峯洋子（農学部農学科）
活動体制（単位）：大学
関連教員（所属）：なし
活動目的：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携
   ・日本郵便遊休地にビニルハウスを建設し、砂栽培（トレファーム®）システムを活用することで、農業未経験者でも高難易度のフルーツトマト生産を可能とできることを実証。
   ・糖度 8 以上の果実を「フルーツトマトさやまる」、それ以外を「さやまるプロジェクトの朝採り完熟トマト」としてブランド化し、様々な販路で販売。
2. 人材育成に関する連携
   ・生産における課題を抽出し、学生の研究テーマとして取り組む。

活動内容・成果：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携
   ･2020 年よりプロジェクト成果物であるフルーツトマト「さやまる」を日本郵便が販売。
   ・2021 年 6 月「さやまる」がおもてなしセレクション受賞
   ・2021 年 9 月　ビニルハウスを 7a から 20a に増設し、生産量拡大
   ・2023 年 3 月「さやまる」が野菜ソムリエサミット金賞を受賞
   ・2024 年 3 月「さやまる」が野菜ソムリエサミット金賞を受賞
2. 人材育成に関する連携
   ・フルーツトマト用しおれ灌水自動化実証を長野農場で実施する際の、農学科学生の支援活動（2024 年 12 月 12 日学生 1 名）

課題・改善点：

長野農場での萎れ灌水自動化実証のために、センサーとロガーを設置するゼミ学生（2024 年 12 月 12 日）

郵便局のネットショップでの
「フルーツトマトさやまる」商品画像